科目名	看護倫理 Nursing Ethics	科目区分	共　通	単位数	２単位
教員名	佐藤ゆか＊，荻野朋子＊，福沢嘉孝＊，福井雅彦，八島妙子＊ ＊：実務家教員	必修・選択	必　修	開講年次	第１学年
				開講学期	前学期
科目概要	医療の高度化・複雑化，国民の医療に対する権利意識の高まりなどに伴い，看護専門職は，多くの複雑かつ困難な倫理的問題に直面するようになっている。本科目では，看護実践の中で，看護職が日常的に直面している倫理的な問題・葛藤について，関係者間での倫理的調整を行うための知識を学修する。主要な内容として，倫理原則や人々の多様な価値観，今日の医療における状況について学ぶ。さらに，倫理調整の実践について事例を用いて検討し，理解を深める。				
目標	1　看護倫理の概念，倫理原則，法的側面，倫理指針について説明できる。 2　看護・医療の場で生じやすい倫理的問題を論じることができる。 3　倫理的諸問題における看護職の役割を説明できる。 4　看護研究や教育において，必要な倫理的な配慮について説明できる。 5　医療および看護現場での倫理的ジレンマに潜む課題を明確化し，調整方法を討議できる。				

内容

1	R6.6.7（金）6・7【対面】	看護における倫理とは①	ガイダンス，医療倫理と看護倫理，倫理と法律	佐藤ゆか
2		看護における倫理とは②	看護倫理綱領，医療倫理の４原則，看護実践上の倫理的概念	佐藤ゆか
3	R6.6.14（金）6・7【対面】	看護倫理の基盤①	倫理学とは何か，何故倫理が必要か，倫理学と他分野(環境・技術・科学など)との関連，様々な倫理理論(功利主義・義務論・徳倫理・物語倫理・ケアの倫理・自由主義と共同体主義など)(全体討議を含む。)	福井雅彦
4		看護倫理の基盤②	ニュルンベルク綱領　ヘルシンキ宣言　リスボン宣言，医療倫理の４原則，他者危害原則　原則の特定化　原則の比較考量など(全体討議を含む。)	福井雅彦
5	R6.6.21（金）6【対面】	看護倫理の基盤③	ICの歴史，ガン告知訴訟の事例検討，情報開示の基準と自己決定権など	福井雅彦
6	R6.8.2(金)6・7【対面】	看護倫理の基盤④	医学・医療における倫理指針	福沢嘉孝
7		看護倫理の基盤⑤	先端医療における倫理指針，生命倫理	福沢嘉孝
8	R6.7.4（木）6・7【対面】	看護現場の倫理的課題①	倫理的意思決定のためのモデル	八島妙子
9		看護現場の倫理的課題②	倫理的ジレンマ・倫理原則の対立・葛藤(全体討議を含む。)	八島妙子
10	R6.7.11（木）6【Zoom】	看護現場の倫理的課題③	看護研究，教育における倫理的問題	佐藤ゆか
11	R6.7.19（金）6・7【対面】	事例検討	倫理調整のための事例分析①プレゼンテーション，全体討議	佐藤ゆか 荻野朋子 福井雅彦
12		事例検討	倫理調整のための事例分析②プレゼンテーション，全体討議	
13	R6.7.20（土）1～3【対面】	事例検討	倫理調整のための事例分析③プレゼンテーション，全体討議	
14		事例検討	倫理調整のための事例分析④プレゼンテーション，全体討議	
15		事例検討	倫理調整のための事例分析⑤プレゼンテーション，全体討議	

学修方法	1　授業で提示する参考図書や資料を十分に読み込み，積極的に授業に臨むこと。 2　授業では，学生のプレゼンテーションを取り入れ，討議を通して学びを深めていく。 3　１コマあたり，90分以上の事前・事後学修が必要になる。 4　プレゼンテーション及びレポートの内容について，適宜，フィードバックを行う。
評価方法	授業への参加状況(プレゼンテーション含む)(40%)，レポート(60%)により，総合的に評価する。
教科書・参考書	授業の中で提示する。
履修上の注意点	３分の２以上の出席を満たしている場合，評価対象とする。

オフィスアワー	荻野朋子：水曜日　16:20～18:00　C 棟５階個人研究室④ ※ 兼担・非常勤講師については別紙にて配布する。